

# LM・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型) / (3ヵ月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 資産複合

## 交付運用報告書

(毎月分配型)

第103期(決算日2021年9月21日) 第104期(決算日2021年10月20日) 第105期(決算日2021年11月22日)  
第106期(決算日2021年12月20日) 第107期(決算日2022年1月20日) 第108期(決算日2022年2月21日)

(3ヵ月決算型)

(年2回決算型)

第34期(決算日2021年11月22日) 第35期(決算日2022年2月21日) 第18期(決算日2022年2月21日)

作成対象期間(2021年8月21日~2022年2月21日)

(毎月分配型)

(3ヵ月決算型)

第108期末(2022年2月21日)	
基準価額	10,129円
純資産総額	16,632百万円
第103期~第108期	
騰落率	8.8%
分配金(税込み)合計	240円

第35期末(2022年2月21日)	
基準価額	9,803円
純資産総額	3,146百万円
第34期~第35期	
騰落率	8.8%
分配金(税込み)合計	1,110円

(年2回決算型)

第18期末(2022年2月21日)	
基準価額	20,491円
純資産総額	7,883百万円
第18期	
騰落率	8.8%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型) / (3ヵ月決算型) / (年2回決算型)」は、2022年2月21日に決算を行いました。

当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

**フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社**  
東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

(営業日の9:00~17:00)

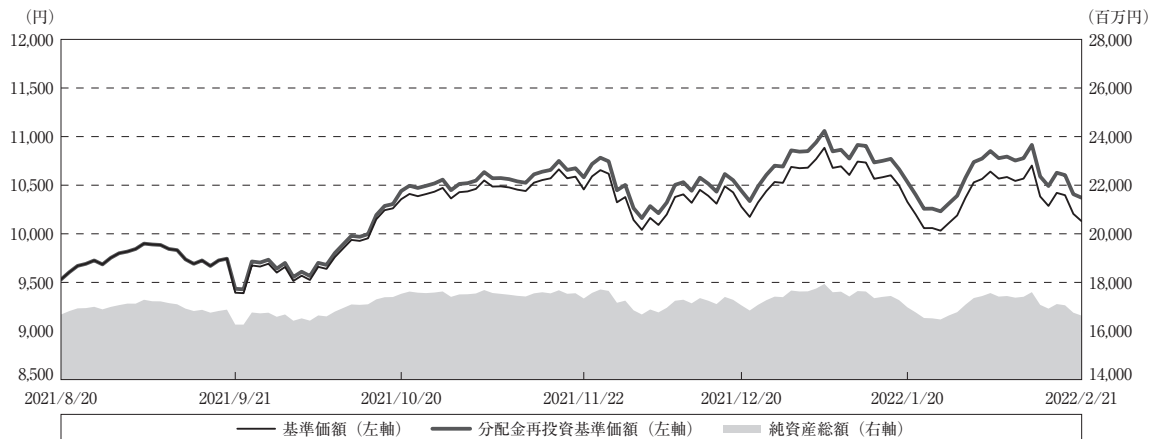
<https://www.franklintempleton.co.jp>

## 運用経過

&lt; L M・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） &gt;

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2021年8月21日～2022年2月21日）



第103期首：9,530円

第108期末：10,129円（既払分配金（税込み）：240円）

騰落率：8.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2021年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。

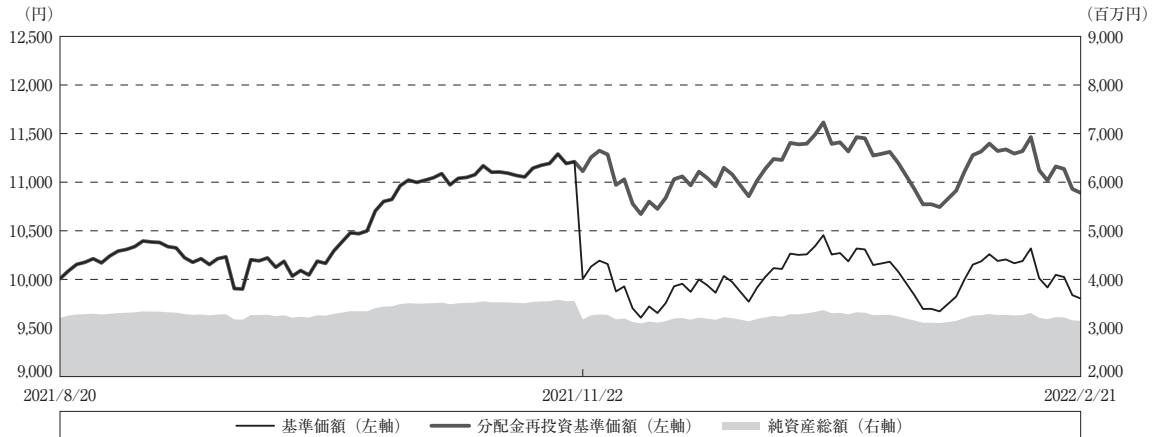
株式要因については、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場の上昇などを背景にプラスとなりました。為替要因についても、米ドル・円相場が米ドル高・円安となったことから、プラスとなりました。

## 運用経過

&lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） &gt;

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2021年8月21日～2022年2月21日）



第34期首：10,007円

第35期末：9,803円（既払分配金(税込み)：1,110円）

騰落率：8.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2021年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。

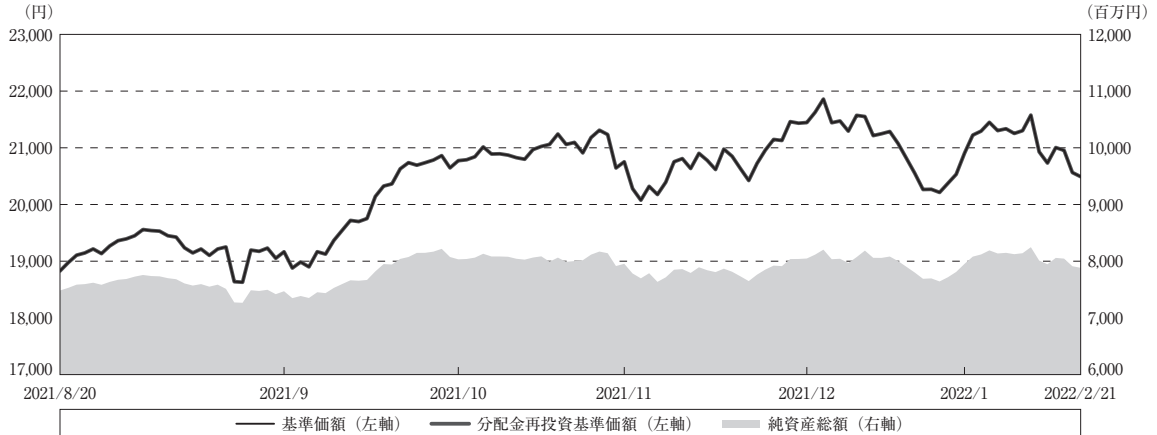
株式要因については、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場の上昇などを背景にプラスとなりました。為替要因についても、米ドル・円相場が米ドル高・円安となったことから、プラスとなりました。

## 運用経過

&lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） &gt;

## 期中の基準価額等の推移

（2021年8月21日～2022年2月21日）



期 首：18,828円

期 末：20,491円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率： 8.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2021年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。

株式要因については、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場の上昇などを背景にプラスとなりました。為替要因についても、米ドル・円相場が米ドル高・円安となったことから、プラスとなりました。

## &lt; L M・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） &gt;

## 1 万口当たりの費用明細

（2021年8月21日～2022年2月21日）

項 目	第103期～第108期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	99	0.970	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	( 48 )	(0.474)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	( 48 )	(0.474)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 2 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.008	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（株 式）	( 0 )	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	( 0 )	(0.000)	
（M L P）	( 0 )	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（株 式）	( 0 )	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資証券）	( 0 )	(0.000)	
（M L P）	( 0 )	(0.000)	
(d) その他費用	6	0.061	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	( 1 )	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	( 1 )	(0.006)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（その他1）	( 5 )	(0.044)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し）
（その他2）	( 0 )	(0.002)	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	106	1.039	
作成期間の平均基準価額は、10,219円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

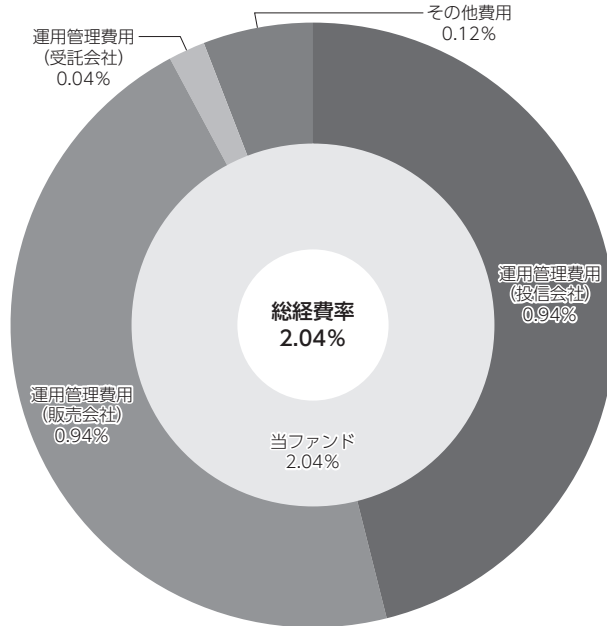
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**(参考情報)****○総経費率**

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.04%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） &gt;

## 1 万口当たりの費用明細

（2021年8月21日～2022年2月21日）

項 目	第34期～第35期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 100	% 0.970	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	( 49)	(0.474)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	( 49)	(0.474)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.009	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の 平均受益権口数
（株 式）	( 0)	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
（投資証券）	( 0)	(0.000)	
（M L P）	( 1)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の 平均受益権口数
（株 式）	( 0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
（投資証券）	( 0)	(0.000)	
（M L P）	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	7	0.072	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数
（保管費用）	( 1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	( 1)	(0.014)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用
（その他1）	( 5)	(0.045)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払 費用（△の場合は、未払費用の組戻し）
（その他2）	( 0)	(0.002)	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	108	1.051	
作成期間の平均基準価額は、10,283円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

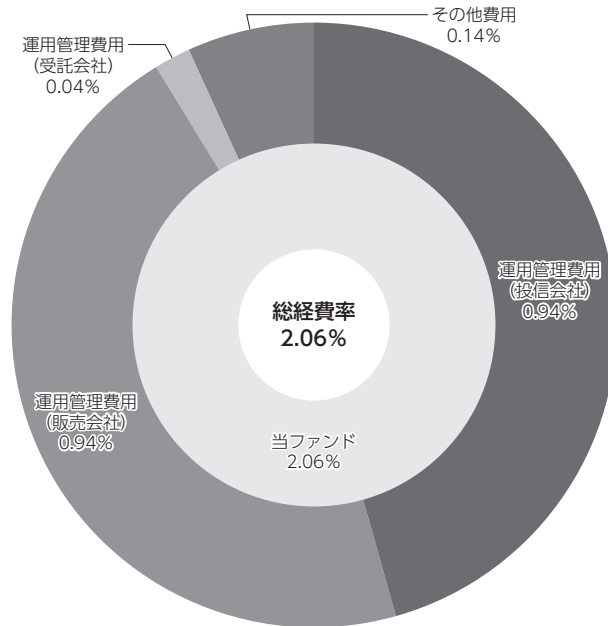
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**(参考情報)****○総経費率**

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） &gt;

## 1 万口当たりの費用明細

（2021年8月21日～2022年2月21日）

項 目	当 期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	198	0.970	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	( 97)	(0.474)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	( 97)	(0.474)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 5)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.009	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
（株 式）	( 1)	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	( 0)	(0.000)	
（M L P）	( 1)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数
（株 式）	( 0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資証券）	( 0)	(0.000)	
（M L P）	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	13	0.065	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	( 2)	(0.008)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（その他1）	( 9)	(0.045)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し）
（その他2）	( 0)	(0.002)	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	213	1.044	
期中の平均基準価額は、20,400円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

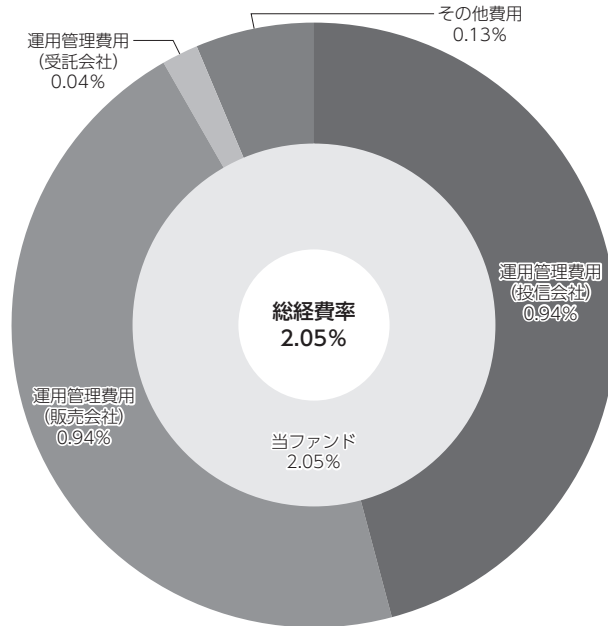
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**(参考情報)****○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.05%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

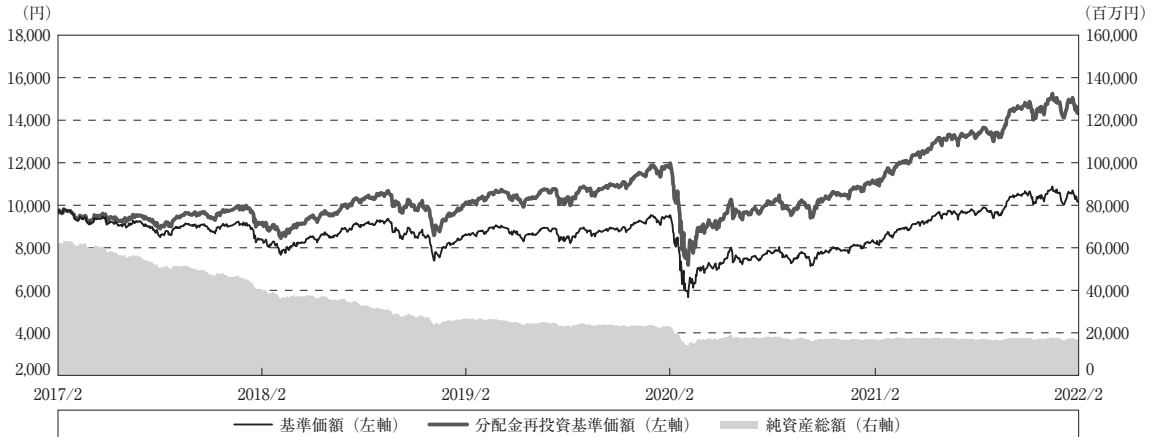
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） &gt;

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2017年2月20日～2022年2月21日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2017年2月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

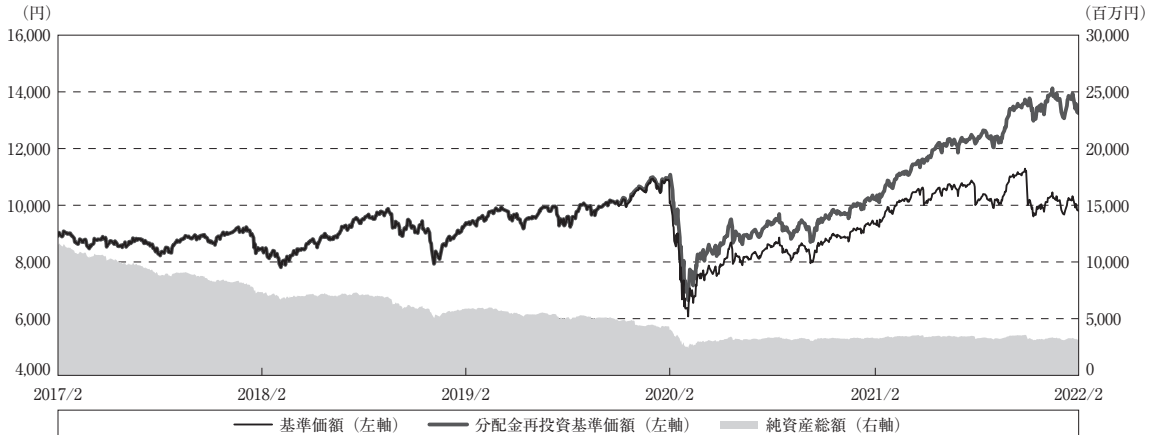
	2017年2月20日 決算日	2018年2月20日 決算日	2019年2月20日 決算日	2020年2月20日 決算日	2021年2月22日 決算日	2022年2月21日 決算日
基準価額 (円)	9,640	8,376	8,634	9,481	8,225	10,129
期間分配金合計(税込み) (円)	-	820	600	600	500	480
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 4.8	10.6	17.4	△ 7.2	29.5
純資産総額 (百万円)	61,685	40,373	26,797	23,004	16,879	16,632

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） &gt;

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2017年2月20日～2022年2月21日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2017年2月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年2月20日 決算日	2018年2月20日 決算日	2019年2月20日 決算日	2020年2月20日 決算日	2021年2月22日 決算日	2022年2月21日 決算日
基準価額 (円)	8,916	8,479	9,378	10,071	9,352	9,803
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	940	0	2,200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 4.9	10.6	17.5	△ 7.1	29.5
純資産総額 (百万円)	11,507	7,345	5,908	3,986	3,271	3,146

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） &gt;

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2017年2月20日～2022年2月21日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2017年2月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年2月20日 決算日	2018年2月20日 決算日	2019年2月20日 決算日	2020年2月20日 決算日	2021年2月22日 決算日	2022年2月21日 決算日
基準価額 (円)	13,767	13,088	14,485	17,022	15,821	20,491
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 4.9	10.7	17.5	△ 7.1	29.5
純資産総額 (百万円)	19,269	12,755	9,851	8,171	6,569	7,883

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型） &gt;

## 投資環境

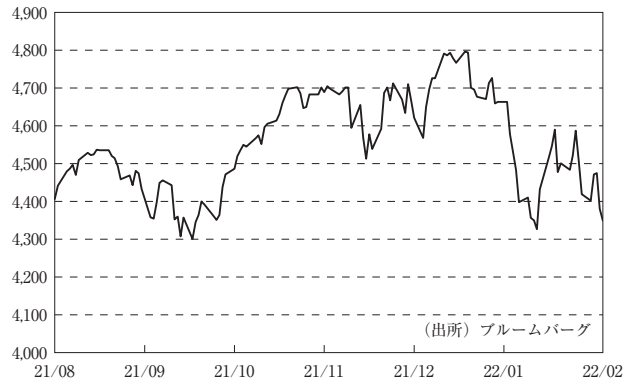
(2021年8月21日～2022年2月21日)

米国S&amp;P 500指数の推移

当作成期の米国株式相場は、若干下落しました。期の前半は、中国の不動産大手の経営不安から投資家のリスク回避姿勢が広がり、株価は下落しました。さらに、米連邦準備制度理事会（FRB）がテーパリング（量的緩和の縮小）の2021年内開始と利上げ開始時期の前倒しを示唆したことなどをを受けて、株価は上値の重い展開となりました。しかしその後は、米国企業による良好な決算が相次いだことなどから、株価は反発しました。

期の半ばは、主要企業による好調な決算などを背景に、株価は上昇しました。その後は、新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）が確認されたことを受けて株価は下落しましたが、オミクロン株への過度の警戒感が後退すると反発するなど、乱高下する展開となりました。

期の後半は、FRBが金融政策の正常化を前倒しで進めるとの見方が強まったことから、株価は下落しました。その後、株価は持ち直す場面が見られましたが、ウクライナ情勢の緊迫化を受けて、上値の重い展開となりました。



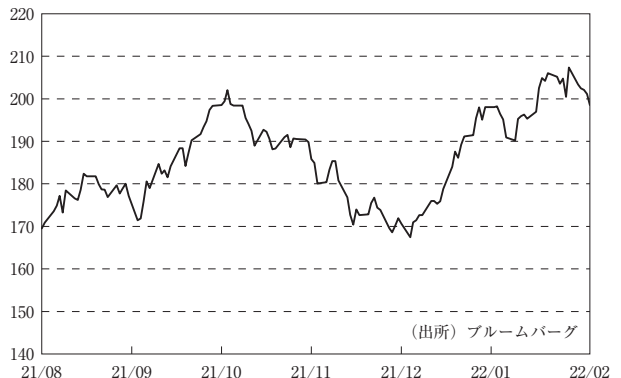
アレリアンMLP指数の推移

当作成期のMLP市場は、上昇しました。

期の前半は、中国の不動産大手の経営不安の高まりを背景に投資家のリスク回避姿勢が意識されたことから、MLP市場は上値の重い展開となりました。しかしその後は、中国の不動産大手の経営不安を巡る過度の警戒感が和らいだことや、原油価格が上昇基調となったことなどから、MLP市場は反発しました。

期の半ばは、米国政府がガソリン高対策として原油の戦略備蓄の放出に向けて動き、原油価格が下落したことから、MLP市場は軟調となりました。さらに、新型コロナウイルスのオミクロン株が確認され、世界経済やエネルギー需要への影響が懸念されたことなどから、MLP市場は下落しました。

期の後半は、オミクロン株の感染拡大による経済への影響は限られるとの見方が根強い中、原油需要の回復期待などを背景に原油価格が上昇する中、MLP市場は堅調となりました。



当作成期のリート市場は、前作成期末比ほぼ横ばいとなりました。

期の前半は、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大で米国景気の回復が遅れるとの懸念が広がったことなどから、株式市場全体が下落する中、リート市場も下落しました。しかしその後は、米国主要企業の決算発表などを背景に株式市場全体が上昇する中、リート市場も上昇しました。

期の半ばは、FRBがテーパリングの開始を決定したものの、利上げに慎重な姿勢を示したことなどが好感され、リート市場は上昇しました。その後、新型コロナウイルスのオミクロン株が確認されたことを受けてリート市場は下落しましたが、オミクロン株への過度の警戒感が後退すると反発するなど、やや値動きの荒い展開となりました。

期の後半は、FRBが想定以上に早いペースで金融政策の正常化を進めるとの観測から米国国債利回りが上昇した影響で、リート市場は軟調となりました。

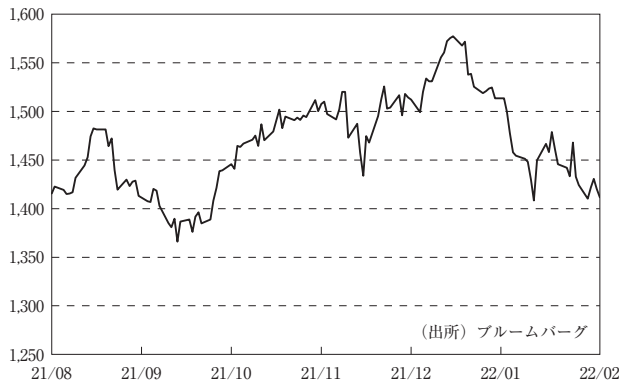
当作成期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、一進一退でスタートとなりました。FRBによる早期のテーパリング開始に対する警戒感から米ドル買い・円売りが優勢となる場面が見られた一方、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大を受けて米国景気への影響が懸念されたことは、米ドルの上値を抑える要因となりました。しかしその後は、米国国債利回りが上昇し、日米金利差が拡大したことから、米ドル買い・円売りが強まりました。

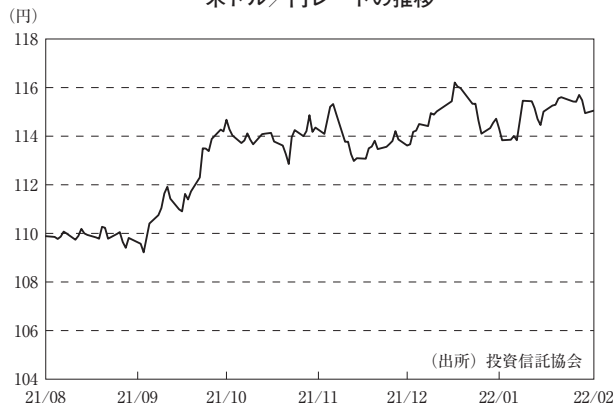
期の半ばは、米国金融政策の正常化が進むとの見方が強まる一方、金融緩和姿勢を維持する日銀との金融政策の方向性の違いが意識されたことなどから、米ドル買い・円売りが優勢となりました。その後、新型コロナウイルスのオミクロン株が確認され、米国国債利回りが低下すると、米ドルは対円で下落しましたが、オミクロン株に対する過度の警戒感が後退すると底堅い動きとなりました。

期の後半は、FRBによる金融政策の正常化が予想以上に早く進むとの見方が広がり、米国国債利回りが上昇したことから、日米金利差が拡大する中、米ドル買い・円売りが優勢となりました。

MSCI US REIT指数の推移



米ドル／円レートの推移



## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型） &gt;

**当ファンドのポートフォリオ**

（2021年8月21日～2022年2月21日）

当ファンドは、主に「LM・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLPおよび不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期の運用においては、高水準の配当利回りが期待できる銘柄への投資を行いました。また、投資にあたっては、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行いました。



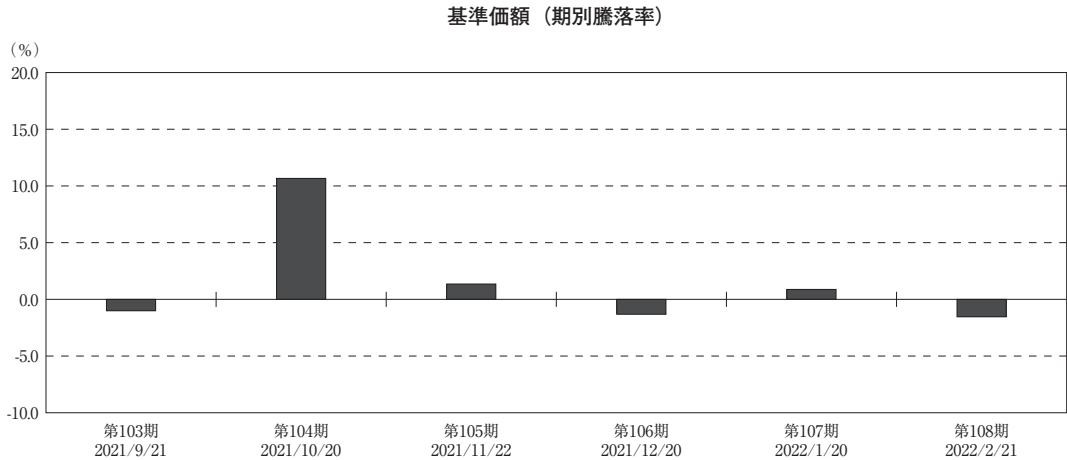
## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） &gt;

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年8月21日～2022年2月21日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

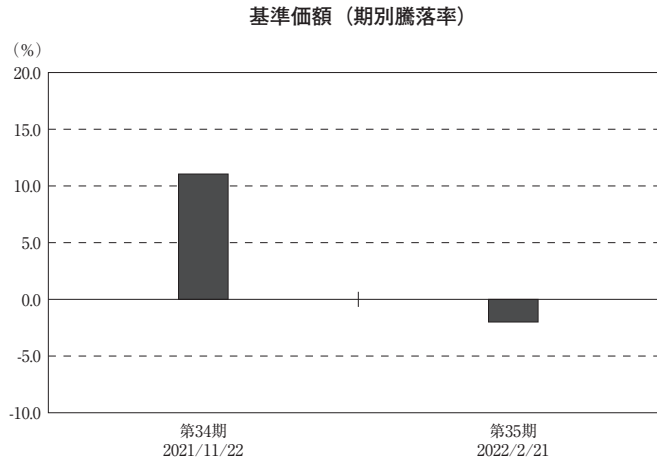
## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） &gt;

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年8月21日～2022年2月21日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

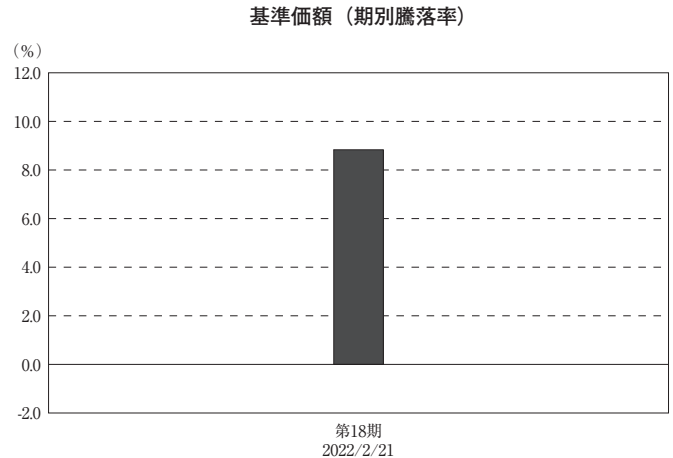
## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） &gt;

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年8月21日～2022年2月21日)

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型） &gt;

## 分配金

（2021年8月21日～2022年2月21日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	2021年8月21日～ 2021年9月21日	2021年9月22日～ 2021年10月20日	2021年10月21日～ 2021年11月22日	2021年11月23日～ 2021年12月20日	2021年12月21日～ 2022年1月20日	2022年1月21日～ 2022年2月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 0.424%	40 0.385%	40 0.381%	40 0.388%	40 0.386%	40 0.393%
当期の収益	8	40	40	10	10	27
当期の収益以外	31	-	-	29	29	12
翌期繰越分配対象額	1,363	2,217	2,316	2,287	2,257	2,244

LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第34期	第35期
	2021年8月21日～ 2021年11月22日	2021年11月23日～ 2022年2月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,110 9.988%	- -%
当期の収益	1,102	-
当期の収益以外	7	-
翌期繰越分配対象額	299	330

LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第18期
	2021年8月21日～ 2022年2月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	- -%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	10,491

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型） >

## 今後の運用方針

当ファンドは米国の株式、MLP、リートへの投資を目的としたファンドです。ポートフォリオにおいては、配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着眼してポートフォリオの構築を行う方針です。

## お知らせ

該当事項はございません。

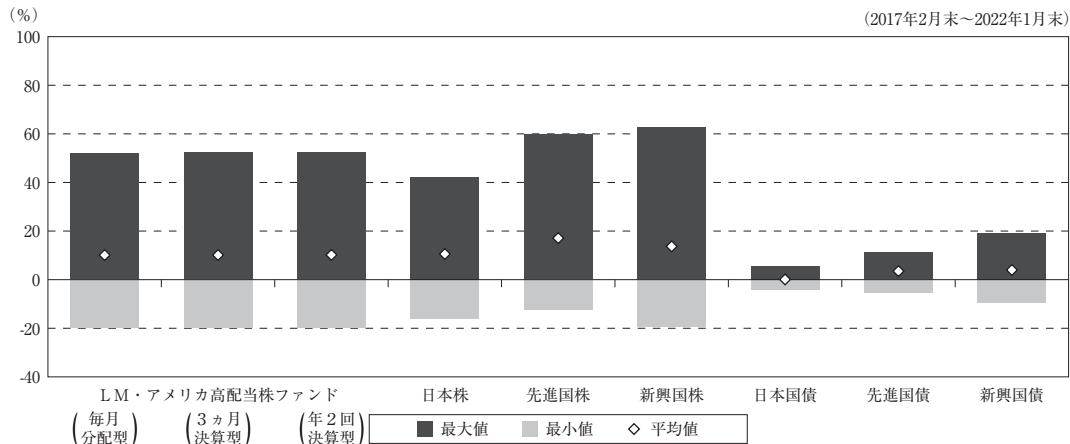
## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合	
信 託 期 間	当 フ ァ ン ド （ 毎 月 分 配 型 ） （ 年 2 回 決 算 型 ）	2013年3月8日～2023年2月20日まで
	当 フ ァ ン ド （ 3 ヲ ヲ 決 算 型 ）	2013年7月19日～2023年2月20日まで
運 用 方 針	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指します。	
主 要 投 資 対 象	当 フ ァ ン ド	「LM・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・アメリカ高配当株マザーファンド	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当 フ ァ ン ド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・アメリカ高配当株マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	（ 毎 月 分 配 型 ）	原則として毎月20日。
	（ 3 ヲ ヲ 決 算 型 ）	原則として毎年2月、5月、8月および11月の各20日。
	（ 年 2 回 決 算 型 ）	原則として毎年2月20日および8月20日。
	上記各ファンドの決算日（休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

### （参考情報）

#### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型） >



(単位: %)

	LM・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型)	LM・アメリカ高配当株ファンド (3ヵ月決算型)	LM・アメリカ高配当株ファンド (年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	52.2	52.4	52.5	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	△ 19.9	△ 19.9	△ 19.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 5.4	△ 9.4
平均値	10.1	10.1	10.2	10.6	17.1	13.7	0.1	3.5	4.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年2月から2022年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

#### (※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI 国債

先進国債…FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・デイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。



## 当ファンドのデータ

&lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） &gt;

## 組入資産の内容

(2022年2月21日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第108期末
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	100.6%
組入銘柄数	1銘柄

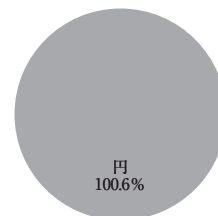
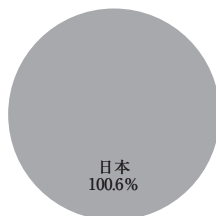
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

項目	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末	第108期末
	2021年9月21日	2021年10月20日	2021年11月22日	2021年12月20日	2022年1月20日	2022年2月21日
純資産総額	16,263,625,840円	17,531,072,079円	17,337,194,994円	17,055,353,136円	16,974,036,573円	16,632,737,351円
受益権総口数	17,312,376,730口	16,928,927,845口	16,580,771,122口	16,593,337,503口	16,434,532,945口	16,421,607,051口
1万口当たり基準価額	9,394円	10,356円	10,456円	10,278円	10,328円	10,129円

\* 当作成期間（第103期～第108期）中における追加設定元本額は1,056,480,256円、同解約元本額は2,135,570,248円です。

## 当ファンドのデータ

&lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） &gt;

## 組入資産の内容

(2022年2月21日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第35期末
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	100.5%
組入銘柄数	1銘柄

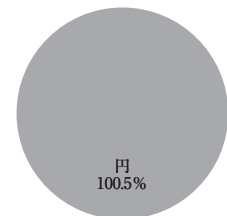
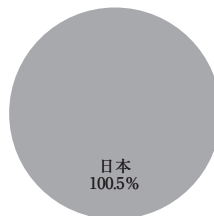
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

項目	第34期末	第35期末
	2021年11月22日	2022年2月21日
純資産総額	3,174,782,563円	3,146,312,639円
受益権総口数	3,173,759,300口	3,209,558,382口
1万口当たり基準価額	10,003円	9,803円

\* 当作成期間（第34期～第35期）中における追加設定元本額は128,974,396円、同解約元本額は123,723,218円です。

## 当ファンドのデータ

&lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） &gt;

## 組入資産の内容

(2022年2月21日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第18期末
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	101.0%
組入銘柄数	1銘柄

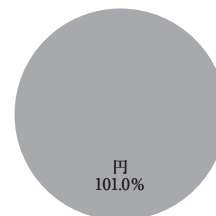
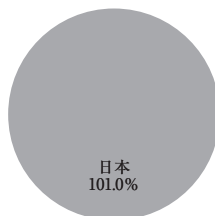
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

項目	第18期末
	2022年2月21日
純資産総額	7,883,188,320円
受益権総口数	3,847,136,817口
1万口当たり基準価額	20,491円

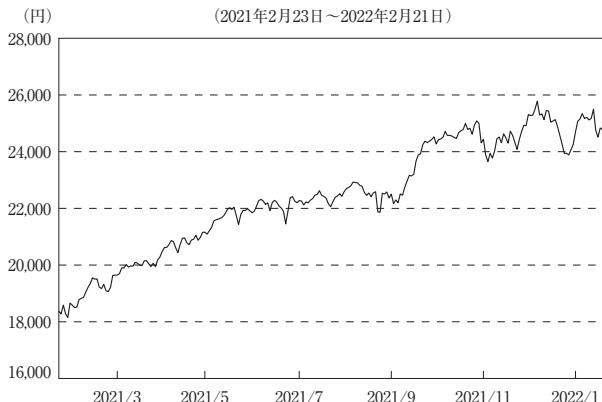
\* 期中における追加設定元本額は458,751,868円、同解約元本額は586,231,410円です。

## 組入上位ファンドの概要

### L M・アメリカ高配当株マザーファンド

#### 【基準価額の推移】

(2021年2月23日～2022年2月21日)



#### 【1万口当たりの費用明細】

(2021年2月23日～2022年2月21日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株投資証券) (MLP)	6 (2) (0) (4)	0.027 (0.007) (0.001) (0.019)
(b) 有価証券取引税 (株投資証券) (MLP)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (保管の費用) (その他)(その他)	11 (2) (8) (1)	0.050 (0.010) (0.036) (0.004)
合計	17	0.077

期中の平均基準価額は、22,326円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

#### 【組入上位10銘柄】

(2022年2月21日現在)

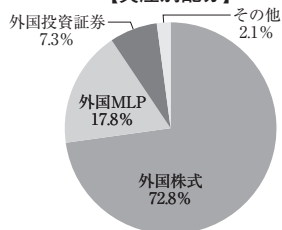
銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
				%
1 APPLE INC	情報技術	米ドル	アメリカ	6.5
2 BLACKSTONE INC	金融	米ドル	アメリカ	5.2
3 MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	アメリカ	5.1
4 ENERGY TRANSFER LP	MLP	米ドル	アメリカ	3.9
5 ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	MLP	米ドル	アメリカ	3.9
6 BROADCOM INC	情報技術	米ドル	アメリカ	3.8
7 MAGELLAN MIDSTREAM PARTNERS	MLP	米ドル	アメリカ	3.4
8 KKR & CO INC	金融	米ドル	アメリカ	2.9
9 QUALCOMM INC	情報技術	米ドル	アメリカ	2.6
10 WILLIAMS COS INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	2.6
組入銘柄数		69銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

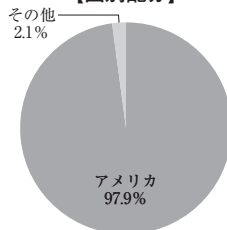
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

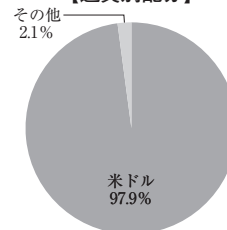
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。